

日本真空協会 2009年12月研究例会
カーボン系材料の新展開

主 催：日本真空協会研究部会

カーボン系材料は、カーボンナノチューブや炭素繊維強化樹脂（CFRP）等を代表とする新素材、カーボンブラックのような将来の低炭素社会を支える電極材料、ダイヤモンドライクカーボンのように母材を強靱に強化する薄膜など、基礎研究から事業化に向け各種方面で研究開発が進められている材料の一つです。本例会では、現在のカーボン系材料に関する研究開発状況を俯瞰するとともに、今後の新展開について本分野でご活躍されている第一線の研究者の方々に、最新動向をご紹介していただくように企画いたしました。真空からエネルギー分野において、新素材関連の諸研究に携わっている技術者ならびに研究者の方々の多くのご参加をお待ちしております。

また、あわせて名古屋大学工学研究科附属プラズマナノ工学研究センター施設装置見学会も行う予定です。

日 時：平成21年12月17日（木）

名古屋大学工学研究科附属プラズマナノ工学研究センター施設の見学会：11：00～12：00

講演会：13：00～16：45（受付12：30～）

交流会：17：30～19：30（名古屋大学生協レストラン花の木）

場 所：名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリ 3階ベンチャーホール
（〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町）

<http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/>

見学会：無料

講演会参加費：日本真空協会会員および協賛団体会員 1,500円

非会員 2,500円 学生 無料

予稿集代：1,000円

交流会参加費：3,000円

—講演会プログラム—

- 開会の挨拶 (日本真空協会研究部会部会長) 土佐正弘 13：00～13：05
1. カーボンナノチューブの特性と応用 (名古屋大学) 齋藤弥八 13：05～13：45
2. SiC上への大面積CNT・グラフェン均一膜制御 (名古屋大学) 楠 美智子 13：45～14：25
3. ナノカーボンの表面化学修飾とキャパシタ電極への応用 (名古屋工業大学) 川崎晋司 14：25～15：05
- 休 憩
4. 先進プラズマプロセスによるグラフェン材料の開発 (名古屋大学) 堀 勝, (名城大) 平松美根男 15：20～16：00
5. カーボンマイクロコイル（CMC）の開発とその将来展望 (豊田理化学研究所) 元島栖二 16：00～16：40
- 閉会の挨拶 (日本真空協会研究部会委員) 塩川善郎 16：40～16：45
- 以上

問い合わせ先：日本真空協会 TEL：03-3431-4395 FAX：03-3433-5371

E-mail：ofc-vs@vacuum-jp.org URL：http://www.soc.nii.jp/vs/

本件担当：日本真空協会（物材機構）土佐正弘（キヤノンアネルバテクノクス）塩川善郎